

令和5年度 浜松市要介護度改善評価事業 取組み報告

担当者① 和久田 祐里 (OT)
担当者② 鈴木 章紘 (PT)

社会福祉法人 聖隷福祉事業団
浜松市リハビリテーション病院 通所リハビリテーション

目次

1. 当院紹介
2. はじめに
3. 取組み紹介
4. 結果
5. 今後の展開

1. 当院紹介

病院概要

- 病床数 : **225** 床
(回復期リハビリテーション病棟 180床)
- 診療科 : 内科・リハビリテーション科・整形外科・歯科
- 従業員数 : **430** 名
- 医師数 : 医師 **20**名
(内科 : 0名(非常勤2名) / 整形外科 : 1名(非常勤3名) /
リハビリ科 : 11名(非常勤1名) / 歯科 : 2名)
- リハビリスタッフ数 : **200** 名(PT104 / OT73 / ST23)



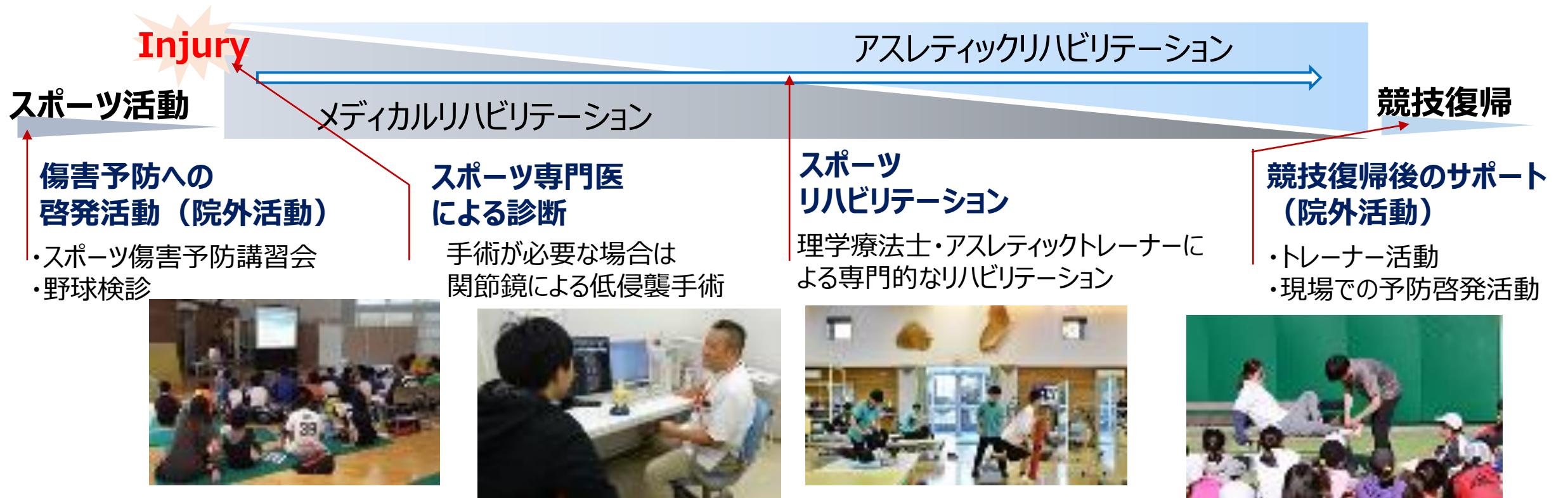
病院施設



スポーツ医学センター

SPORTS MEDICAL CENTER

スポーツ専門医のもと、競技復帰のサポートと予防啓発への取り組み



手術



主に内視鏡を用いた、**低侵襲で正確な手術**を実施
それぞれに専門の医師が執刀

『肩』の治療



肩・肘関節専門の専門医が常勤しており
様々な疾患に対応
投球障害治療は**県内No.1**の実績



脳の障害に対し、生活の再構築や社会参加に向けた専門的な支援を提供

診断

専門医が診察し、治療の方針を決定



リハビリテーション

神経心理学的検査、生活訓練などを行い、認知機能の向上を図り、生活の基盤を整備



社会参加

地域福祉施設とも連携を図り、社会参加できるよう支援



運転支援

運転シミュレーターの導入や、自動車学校との連携で、包括的に**運転再開**を支援



患者・家族のつどい

退院後の生活や社会復帰に向けて、**社会資源の情報共有**や**心理面のサポート**



地域支援勉強会

地域の施設スタッフが参加し、**ネットワーク**を広げるための勉強会を開催



先進機器を用いた最先端リハビリテーション



- ウェルウォークWW-2000(歩行練習支援ロボット)
- レール走行式免荷リフト



- rTMS (経頭蓋磁気刺激装置)
- tDCS (経頭蓋電気刺激装置)



- Path leader
- IVES

- 促通機器を用いた機能改善
- ロボティクスリハビリテーションの実践
- リハビリテーションエンジニアの育成
(勉強会・カンファレンス)
- 慢性維持期を含めた機能回復への挑戦



- Vital stim
- Jentle stim



カフアシスト

通所リハビリテーション部門の概要

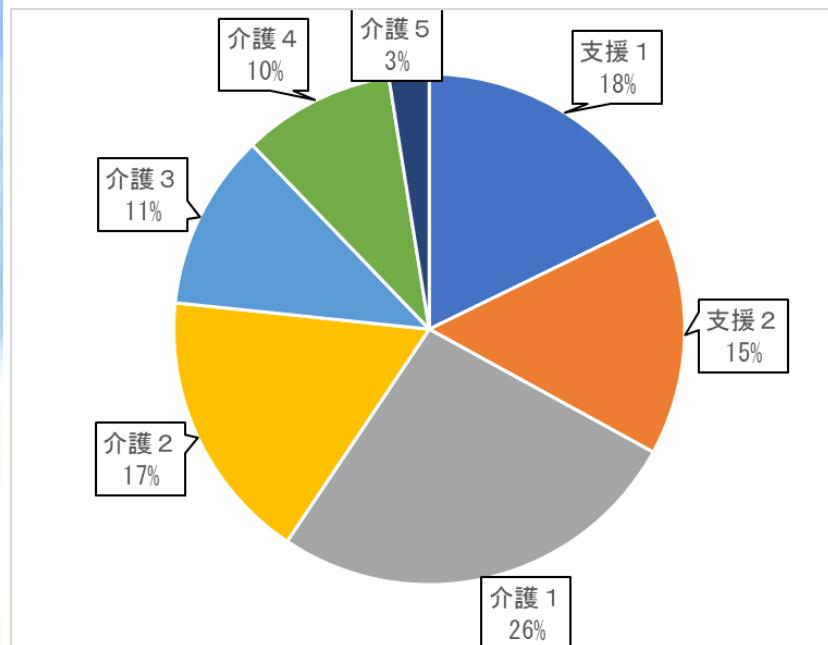
-介護保険事業-
短時間通所
リハビリテーション

- 稼働状況：
平日+祝日
3部制×週3日、4部制×週2日

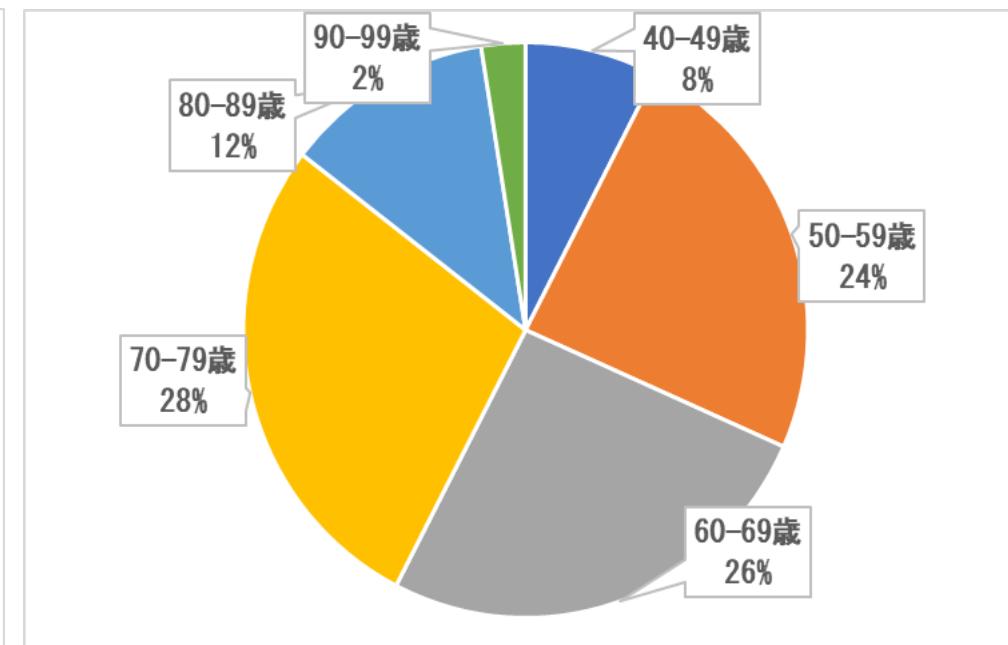
- 受入地域：静岡県西部地区

- 利用者の内訳

介護度別



年齢別



2. はじめに

はじめに

- 今回通所リハビリテーションの利用者に関わり、畑作業の参加を目標に生活行為向上リハビリテーション加算を算定し実施。結果、家族の協力のもと畑作業の実施に至った。生活行為向上リハビリテーションの流れを含め、経過を報告する。

- 当院通所リハビリテーションでは生活行為向上リハビリテーション加算を2022年より算定しており、今回の事例は最初に算定を開始している。

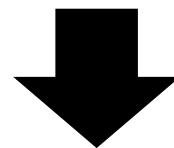
- 生活行為とは排泄や入浴、家事、仕事、趣味活動等の生活に関わる行為全般をさす。



- 作業療法では、活動的な生活を送るために、その人の生活意欲を高めるもととなる「意味のある、したい生活行為」を再び行えるようにする支援をして、生活行為の向上を目指している。

生活行為向上リハビリテーション実施加算

- 生活行為の向上に焦点を当てたリハビリテーションの取組として、算定要件を満たした通所リハビリテーションで算定ができる
- 生活行為の充実を図るための**目標等を定め、リハビリテーション実施計画を作成し、同意を得て提供する。
- 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が利用者の居宅で、生活行為に関する評価を月1回以上実施する。
- リハビリテーションの終了前1月以内にリハビリテーション会議を開催し、目標の達成状況を報告する



目標達成後に自宅での自主的な取組みや地域の通いの場、通所介護等に移行することを目指す

3 . 取組み紹介

右被殻出血を発症し入院



退院



1年8ヶ月



面接



生活行為向上リハビリテーションを検討

通所リハビリ利用開始

- ・左手が補助的に生活へ参加ができるよう訓練
- ・家事の実施に向けた応用訓練
- ・事例と家族への指導、アドバイス



当初の独歩で家事一部実施の目標は達成

- ・事例：できることとできないことがある
- ・夫：もう少し手がよくなってほしい

事例紹介 ICF（国際生活機能分類）モデル

事例	右被殻出血 ニード：畑をやってみたい
心身機能	<ul style="list-style-type: none">・左片麻痺（左手は物を握る、支える等補助で生活に参加できる）・認知面の問題なし
活動	<ul style="list-style-type: none">・屋内移動：独歩で自立・屋外移動：T-caneで自立・セルフケア（食事、入浴等）はすべて自立
参加	<ul style="list-style-type: none">・趣味として自宅隣の畑で野菜を作っていたが、病気による身体機能面の低下から取組みをやめている・夫に畑の草取りや野菜の栽培を依頼している・カナダ作業遂行測定(畑作業) 重要度7 遂行度3 満足度5 ・洗濯、掃除、調理の一部を実施・通所リハを週2回利用

事例紹介 ICF（国際生活機能分類）モデル

個人因子	<ul style="list-style-type: none">・ 60歳代女性・ 夫と息子、娘と生活・ 要支援2・ 性格は真面目、穏やか、前向き・ 家事への参加を提案すると自宅で取り組んでくれる・ 難しいと感じた場合は夫や家族に頼る
環境因子	<ul style="list-style-type: none">・ 2階建ての一軒家に住み、生活スペースは1階、階段に手すりがある・ 自宅隣の10坪が畑になっている・ 畑に畝（ウネ）はなく歩行できるが、土を耕しているためやや足が沈み込む・ 敷地内に物置があり、クワや支柱、手動の耕運機、作業用のタイヤ付きの椅子などの農機具が入っている・ キーパーソンの夫は、本人のサポートを積極的に行い、本人の意思を尊重した関わりを行っている

取組みのきっかけ 生活行為向上リハビリテーション実施の理由

事例	<ul style="list-style-type: none">・当初の「独歩で家事の一部実施」の目標を達成・事例は生活行為へのニードを具体的に挙げる事ができる
心身機能	<ul style="list-style-type: none">・身体機能面は通所リハビリ開始当初より改善しており、一定期間の訓練で 畑作業に携わることができるのでは
活動	<ul style="list-style-type: none">・屋内の活動に習慣的に参加できている
参加	<ul style="list-style-type: none">・畑作業への本人の重要度は高いが、実際に遂行できていない
個人因子	<ul style="list-style-type: none">・これまでの経過や事例の性格から、こちらから提案することで、獲得した活動を継続して取り組むことができるのでは
環境因子	<ul style="list-style-type: none">・夫は協力的で畑作業に対しても、サポートが得られると考えられる・夫は事例が畑作業に対して何が可能で何が難しいか、どのような支援があれば可能か知ることで、事例の能力を生かした支援を行えるのではないか



生活行為向上リハビリテーションにて、畑作業を目標とし、本人と夫を巻き込んで一定期間の訓練を行い畑作業の実施を目指していくことを考えた

担当者以外の関与 生活行為向上リハビリテーション計画書

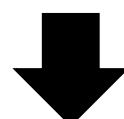
本人の目標		自宅の畑作業ができるようになりたい	
家族の目標		クワをもったりしてみたが、畑が自分がやっている。畑のできることが増えてほしい	
実施期間		通所訓練期(1～3か月) 通所頻度 2回/週	社会適応訓練期(4～6か月) 通所頻度 2回/週
活動	プログラム	①平行棒でしゃがみ訓練 (自主トレ) ②屋外の不整地で歩く、しゃがむ練習 (個別) ③スコップ、クワ等の道具の操作の練習 (個別) ④ホースでの水やりの練習 (個別)	①見守りで園芸作業を行う (個別) ②委託での畑作業の役割に基づき、課題の作業を反復練習する (個別)
	自己訓練	・時期の後半は居宅訪問で評価した後に水やりや肥料まきを夫の見守りでやってみる ・いすに座った状態で草むしりをやってみる	自宅で見守りのもと畑作業をする
心身機能	プログラム	①下肢・体幹筋力強化 (自主トレ+個別) ②上肢機能訓練 (個別) ③床からの立ち上がり訓練 (個別) ④バランス訓練 (自主トレ)	左と同様
	自己訓練	①筋力強化：スクワット 30回 ②上肢機能訓練：左手をメインに扉や冷蔵庫の開閉を行う ③床からの立ち上がり訓練：洗濯物をたたむときは床に座って行う ④バランス訓練：散歩：見守りで畑を歩く	左と同様
参加	プログラム	・通所利用時に屋外での園芸活動を見守りで行う ・自宅での取組みを確認して、助言をする	・畑作業に必要な道具や衣類の準備 ・外出先で苗や肥料の購入に携わる
	自己訓練	・時期の後半は居宅訪問で評価した後に水やりや肥料まきを夫の見守りでやってみる	家族の付き添いのもと、道具や衣類の準備、買い物に行く
【支援内容の評価】畑作業を行いました。結果としては、不整地の立ち上がりや後方移動の見守り、重量のある運搬に関して介助が必要と考えられますが、夫の付き添いのもと畑作業は可能と考えられます。			

取組みにおける評価

	評価の項目	評価の時期
本人の希望	本人の表出（面接を通して実施）	6か月後
心身機能	握力：筋力	毎月
活動	セルフケアの状況（面接を通して実施）	6か月後
参加	畑に関する作業評価	毎月
	カナダ作業遂行測定（畑仕事） ：作業課題に対する主観的な 「重要度」、「遂行度」、「満足度」をみる	6か月後
個人因子	本人の表出（面接を通して実施）	6か月後
環境因子	家族の表出（面接を通して実施）	6か月後

創意工夫した点 経過 1 か月目～3 か月目

	毎週の通所リハ	月 1 回の自宅訪問
1 か月目	<ul style="list-style-type: none"> ・長靴の着脱 ・長靴での歩行の評価 ・床からの立ち上がりの訓練 <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>長靴を履き畑で移動の練習</p> <p style="text-align: center;">↓</p>
2 か月目	<ul style="list-style-type: none"> ・床からの立ち上がりの訓練 ・下肢と体幹の筋力強化 <p style="text-align: center;">↓</p>	<p>畑でのしゃがみや立ち上がりの評価</p> <p style="text-align: center;">↓</p>
3 か月目	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外での立ち上がりの訓練 ・膝立ちの練習 <p style="text-align: center;">段階的な訓練</p>	<p>不整地での座位作業や膝立ちでの移動の練習</p> <p style="text-align: center;">訓練した動作の実践</p>



家族見守りのもと、畑作業に必要な基本動作が行えるようになった

創意工夫した点 経過 4 か月目～6 か月目

実際に畑作業を行いできること、介助が必要な点を指導

	毎週の通所リハ	月 1 回の自宅訪問
4 か月目	<ul style="list-style-type: none"> ・堆肥の運搬の評価 ・床からの立ち上がりの訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・プランターの土やネットの準備
5 か月目	<ul style="list-style-type: none"> ・上下肢や体幹の筋力強化 ・屋外での模擬的なクワ操作 	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜の収穫 ・クワの操作や運搬の評価
6 か月目	<ul style="list-style-type: none"> ・畑の取組みの確認 ・外出時に園芸用品を見に行くなどの変化あり 	<ul style="list-style-type: none"> ・じゃがいもの植え付け ・草取りの方法の検討

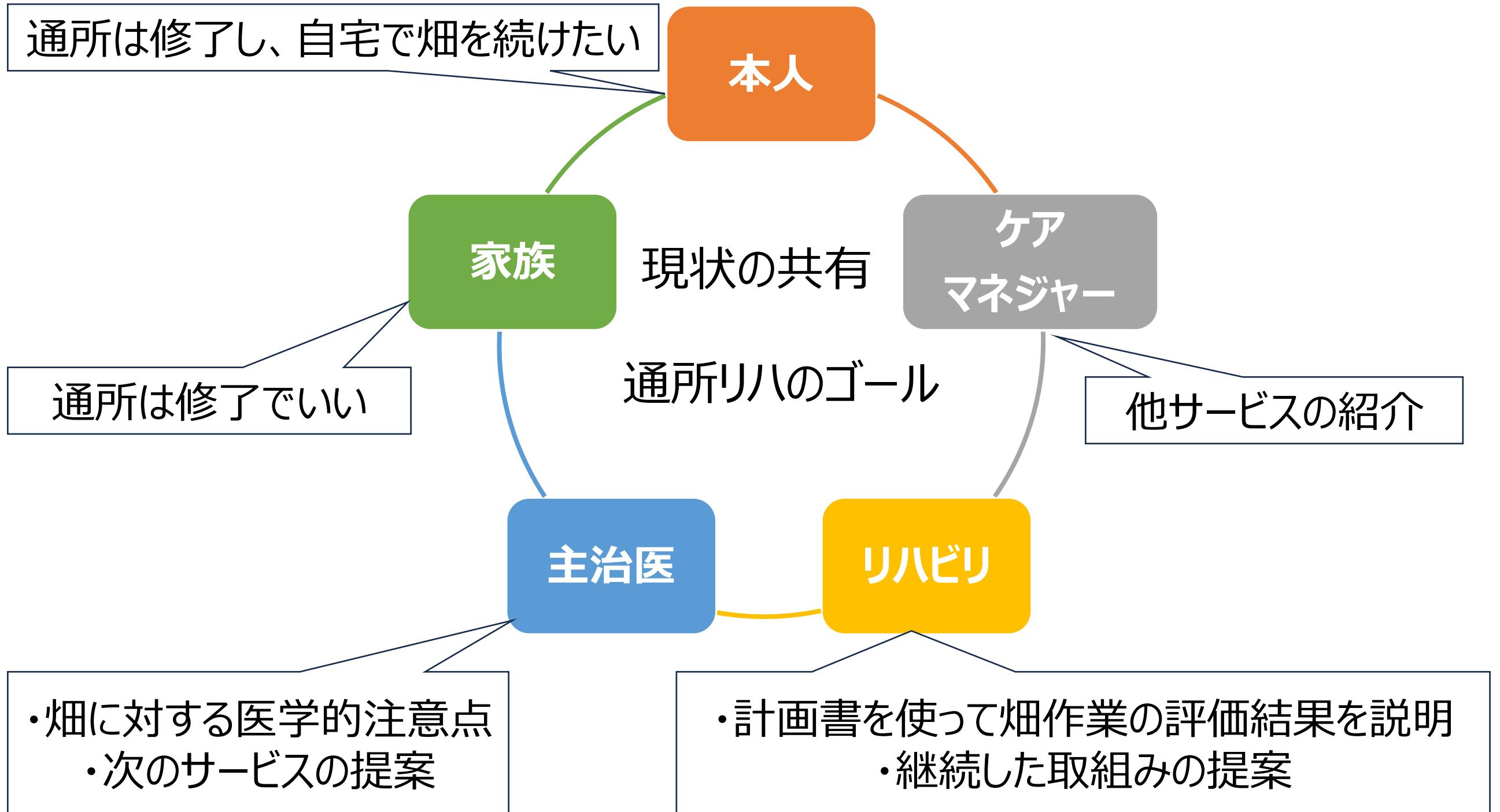
段階的な訓練

主体性の促し

家族見守りのもと畑作業の実践を依頼した



担当者以外の関与 6か月後のリハビリテーション会議



**通所リハは修了し、その後も畑作業が継続できるように
本人と家族、ケアマネジャーに共有**

4. 結果

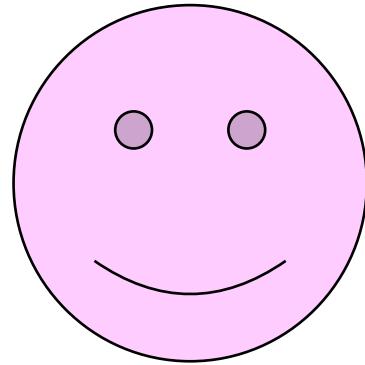
取組みの見直し

	生活行為リハビリテーション実施前		実施後
事例	ニード：畑をやってみたい	➔	ニード：夏にメロンを収穫したい
心身機能	握力右22kg 左7kg	➔	握力右 23 kg 左 9 kg
参加	<ul style="list-style-type: none"> ・夫に畑の草取りや野菜の栽培を依頼している ・カナダ作業遂行測定(畑作業) 重要度7 遂行度3 満足度5 ・通所リハを週2回利用 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ・夫の付き添いのもと、畑の手入れや野菜の収穫を行う ・カナダ作業遂行測定(畑作業) 重要度5 遂行度5 満足度10 ・通所リハを修了予定

取組みの見直し

	生活行為リハビリテーション実施前		実施後
個人 因子	<ul style="list-style-type: none"> ・左手の参加や家事の実施を提案すると、自宅で取り組んでくれる ・難しいと感じた場合は夫や家族に頼る 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・今後はサービスを利用せずに畑作業や散歩をして過ごしたい ・野菜作りについて自分で調べる ・夫の力を借りながら行おうとする意欲あり
環境 因子	<ul style="list-style-type: none"> ・キーパーソンの夫は、事例のサポートを積極的に行い、事例の意思を尊重した関わりを行っている 	➡	<ul style="list-style-type: none"> ・夫は畑作業で介助が必要な内容と介助方法を理解し実践している ・夫は通所リハビリの修了を納得している

取組みの見直し 通所リハビリ終了6か月後の状況

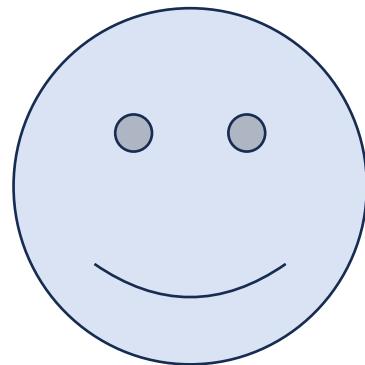


事例

畑はやってるよ。
メロンはあんまりとれなかったけど、
スイカはたくさんとれたよ

ほかのサービスは使ってないよ。

歩いて寺院めぐりができたよ。
今後は新幹線に乗って出かけたいな。



夫

通所リハが終わったあとにケアマネジャーさんが次の目標を
聞いてくれて、「旅行に行く」にしたよ。

歩くのがずいぶんよくなった。
手のほうは変わらないかな。

通所リハ終了後も生活行為の維持・向上がみられた

5. 今後の展開

他事業所への展開

- ・生活行為向上リハビリテーションの取組過程を応用する

例えば、デイサービスや介護福祉施設にて
“浴槽のまたぎ動作が楽にやりたい”利用者に対して、
「**体操や散歩で足の筋力をつける時期**」から
「**介護方法や福祉用具を検討し、入浴時にまたぐ練習をする時期**」を
経て、**基礎の練習**と**実際の練習**を行うことで
生活行為の向上を図ることができる

- ・介護保険が認定されていない方に対して、
**潜在的な趣味や役割、活動の希望を拾い上げ、
明確な目標として計画をたてて実行して頂くことで、
社会参加の促進や介護予防につながる可能性**がある

- ・住み慣れた地域で
自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、
医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制
(地域包括ケアシステム) の構築への一助につながると考えられる

他事業所への展開 目標を共有する手段

日本語版 FAI (Frenchay Activities Index) 自己評価表

※普段の生活の様子に関する 15 の質問に対して、最も近い回答を選びその番号 (0, 1, 2, 3) を〔 〕内に記入してください。

◎最近の 3 か月間の状態 (問 1 ~ 問 10)

合計得点〔 〕

【0 : していない 1 : 週 1 回未満であるがしている 2 : 週 1 ~ 2 回程度している 3 : ほとんど毎日している】

1. 〔 〕食事の用意 : 実際に献立、準備、調理をすること 2. 〔 〕食事の片づけ : 食器類を運び、洗い、拭き、しまう

【0 : していない 1 : 月 1 回未満であるがしている 2 : 月 1 ~ 3 回程度している 3 : 週 1 回以上している】

3. 〔 〕洗濯 : 手洗い、コインランドリーなど洗濯方法は問わないが、洗い乾かすこと

4. 〔 〕掃除や整頓 : モップや掃除器を使った清掃、衣類や身の回りの整理・整頓など

5. 〔 〕力仕事 : 布団の上げ下ろし、雑巾で床を吹く、家具の移動や荷物の運搬など

6. 〔 〕買い物 : 品物の数や金額を問わないが、自分で選んだり購入したりすること

7. 〔 〕外出 : 映画、観劇、食事、酒飲み、会合などで出かけること

8. 〔 〕屋外歩行 : 散歩、買い物、外出などのために、少なくとも 15 分以上歩くこと

9. 〔 〕趣味 : 園芸、編物、スポーツなどを行う。テレビで見るだけでは趣味に含めない。自分で何かをすることが必要である

10. 〔 〕交通手段の利用 : 自転車、車、バス、電車、飛行機などを利用する

【0 : していない 1 : 週 1 回未満であるがしている 2 : 月 1 ~ 3 回程度している 3 : 少なくとも毎週している】

11. 〔 〕旅行 : 車、バス、電車、飛行機などに乗って楽しみのために両行をすること。出張など仕事のための旅行は含まない

【0 : していない 1 : ときどき、草抜き、芝刈り、水まき、庭掃除などを行っている 2 : 定期的に行っている 3 : 定期的に行っている。必要があれば、掘り起こし、植え替えなどもしている】

12. 〔 〕庭仕事 :

【0 : していない 1 : 電球その他の部品の取り換え、ネジ止めなどとしている 2 : ペンキ塗り、室内の模様替え、車の点検・洗車などとしている 3 : 家の修理や車の整備をしている】

13. 〔 〕家や車の手入れ :

【0 : していない 1 : 半年に 1 回程度読んでいる 2 : 月 1 回程度読んでいる 3 : 月 2 回以上読んでいる】

14. 〔 〕読書 : 通常の本を対象とし、新聞、週刊誌、パンフレット類はこれに含まない

【0 : していない 1 : 週に 10 時間未満働いている 2 : 週に 10 ~ 30 時間働いている 3 : 週に 30 時間以上働いている】

15. 〔 〕勤労 : 常勤、非常勤、パートを問わないが、収入を得るもの。ボランティア活動は仕事に含めない

他事業所への展開 目標を共有する手段

興味・関心チェックシート

氏名： _____ 年齢： _____ 歳 性別（男・女） 記入日： H _____ 年 _____ 月 _____ 日

表の生活行為について、現在しているものには「している」の列に、現在していないがしてみたいものには「してみたい」の列に、する・しない、できる・できないにかかわらず、興味があるものには「興味がある」の列に○を付けてください。どれにも該当しないものは「している」の列に×をつけてください。リスト以外の生活行為に思いあたるものがあれば、空欄を利用して記載してください。

生活行為	している	してみたい	興味がある	生活行為	している	してみたい	興味がある
自分でトイレへ行く				生涯学習・歴史			
一人でお風呂に入る				読書			
自分で服を着る				俳句			
自分で食べる				書道・習字			
歯磨きをする				絵を描く・絵手紙			
身だしなみを整える				パソコン・ワープロ			
好きなときに眠る				写真			
掃除・整理整頓				映画・観劇・演奏会			
料理を作る				お茶・お花			
買い物				歌を歌う・カラオケ			
家や庭の手入れ・世話				音楽を聴く・楽器演奏			
洗濯・洗濯物たたみ				将棋・囲碁・ゲーム			
自転車・車の運転				体操・運動			
電車・バスでの外出				散歩			
孫・子供の世話				ゴルフ・グランドゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ			
動物の世話				ダンス・踊り			
友達とおしゃべり・遊ぶ				野球・相撲観戦			
家族・親戚との団らん				競馬・競輪・競艇・パチンコ			
デート・異性との交流				編み物			
居酒屋に行く				針仕事			
ボランティア				畑仕事			
地域活動 (町内会・老人クラブ)				賃金を伴う仕事			
お参り・宗教活動				旅行・温泉			



ADOC

リハビリ従事者のための
コミュニケーションパッド



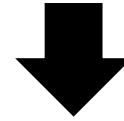
生活行為向上マネジメント

©一般社団法人日本作業療法士協会

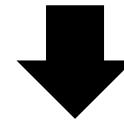
本シートは、この著作権表示を含め、このまま複写してご利用ください。シートの改変は固く禁じます

他事業所への展開 目標を共有する流れ

日本語版FAIなどの紙面に、利用者や家族に記入してもらう



紙面をみながら話し合う(面接)



生活行為の目標を決定する

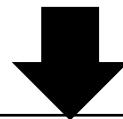


+

計画書

みんなで共有する

目標に向かって基礎・実際の練習を行う



生活行為の達成・次の目標へ

利用者と支援者ともに目標・取り組むことが明確になる

当事業所における今後の展開

- 生活行為向上リハビリテーションの件数を重ねることで、利用者の幅広い生活行為の目標達成への支援と、他支援者への情報共有を行っていききたい
- 他施設においても、本事例のように生活行為に向けた取組みが行えるよう、面談や計画の立て方、他支援者との情報共有の方法について共有していききたい

考察・結語

考察

- ・「畑作業に対する積み重ねの達成」と「介助が必要な作業が明確になること」で、本人と家族での畑作業を再獲得できて、通所リハの修了に至った
- ・面接や生活行為に焦点を当てた関わり、事例・家族や介護保険の他支援者への関わりが、活動と参加の拡大につながった

結語

生活行為向上リハビリテーション実施加算を行うことで、利用者と支援者が一体となり、具体的かつ実践的に生活行為の向上を目指すことができる

参考文献

生活行為向上マネジメントの活用と連携で自宅での役割が再獲得でき通所リハビリ終了に至った事例
米井浩太郎 日本作業療法学会抄録集 52: 495-495, 2018.

<https://www.rehakyoh.jp/images/pdf/2016100704.pdf>

<https://www.jaot.or.jp/files/news/wp-content/uploads/2014/05/seikatsukoui-2kyoumikanshin-checksheet.pdf>

<https://www.jaot.or.jp/files/page/wp-content/uploads/2014/12/panflet.pdf>

<http://adocproject.com/>